

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ

第46回「ゲーテの会」

未来に向かう人類の英知を探る

— 時代の裂け目の中で、人々は何に希望を見出してきたか —

《政治・経済分野》

「大変革期における企業家—東の渋沢栄一、西の五代友厚—」

講師：大阪大学名誉教授 **宮本又郎** 先生

【講演要旨】 幕末から明治の時代は現在と同じく、いやそれ以上に、激動期であった。封建制の崩壊、鎖国から開国へ、王政復古と維新期の諸変革、文明開化、産業革命の開始など政治・経済・社会のあらゆる面で激しい変化があった。しかし、こうした局面にあっても大多数の国民は変化の意味を十分には理解できなかったし、理解したとしても、それに対応した行動をとるのをためらっていた。社会全体が変革にチャレンジするためには、いち早く西洋の進んだ文明についての情報を得、彼我のギャップを知覚して、革新的企業家活動に乗りだし、変化のイデオロギーを創出するビジネスリーダーの出現が不可欠であった。東の渋沢栄一と西の五代友厚はこの役割を演じた代表的存在であった。そこで、この講演ではこの2人にスポットライトをあてて、その行動と思想の特質、現代的意義についてお話することにした。

【講師紹介】 1943年福岡市生まれ、神戸大学大学院経済学研究科修士課程修了、経済学博士。大阪大学経済学部教授、同経済学部長、関西学院大学経営戦略研究科教授を経て、現在、大阪大学名誉教授、大阪企業家ミュージアム館長、関西学院大学客員教授、放送大学客員教授、江崎グリコ(株)社外監査役。専門は日本経済史・経営史。著書に『近世日本の市場経済』(有斐閣)『日本企業経営史研究』(有斐閣)『企業家たちの挑戦』(中央公論新社)『企業家たちの幕末・維新』(メディアファクトリ新書)『商都大阪をつくった男五代友厚』(NHK出版)『渋沢栄一』(PHP研究所)などがある。受賞歴に第31回日経経済図書文化賞、第5回総合研究開発機構政策研究東畑記念賞などがある。

日時：2017年4月11日(火)18:00～20:30

会場：公益財団法人国際高等研究所

参加費：2,000円(交流・懇談会費用を含む)

定員：40名(申し込みが定員を超えた場合は抽選)

申込：以下のURLからお申込みください

詳細：<http://www.iias.or.jp/communication/goethe>

締切：2017年4月7日(金)

 公益財団法人
国際高等研究所
International Institute for Advanced Studies

けいはんな「ゲーテの会」とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。

